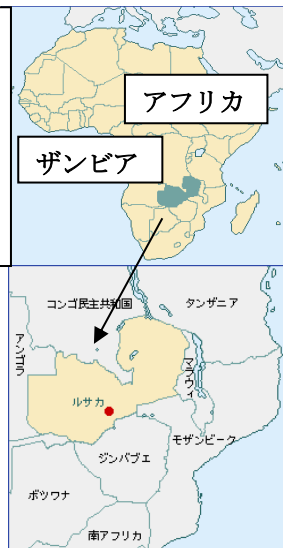


認定 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第 144 号 (R5.8.7)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7（メール info@ormz.or.jp） 文責：日高良雄



はじめに 8 月、迷走台風が沖縄や九州に大雨をもたらす一方で、近畿地域や関東では 39 度の酷暑、なんと 5 日には福島で 40 度記録とのニュースが。異常気象ですね。大きな被害が出ないことを祈るばかりです。

皆様、どうぞご自愛ください。

さて、ORMZ ニュース第 144 号では、ヘルスポスト設置の進捗状況（順調に進んでいます）、巡回診療活動の報告などをお伝えします。どうぞご覧ください。

皆様には引き続きのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

会の経過報告等

- ・内閣府から NPO 法人に対する調査が二つ届き、回答しています。
- ・20 日、「認定特定非営利活動法人の活動状況に関する調査」に回答。NPO 関連制度のあり方の検討に供する調査とのことです。24 日、「2023 年度（令和 5 年度）特定非営利活動法人に関する実態調査」に回答。こちらは NPO 法人の活動実態等を明らかにすると共に、共助社会づくり推進のための基礎資料を得ることを目的とした調査とのことです。

現地の状況、事務所だより（山本ひとみ）

【新型コロナウイルス感染症】(<https://www.worldometers.info/coronavirus/country/zambia/>より)

最近の感染者報告数ですが、7 月 3 日 1007 件、10 日 450 件、17 日 278 件といった状況です。

減少してきているのでしょうか？ 実態はよくわかりません。

【ヘルスポスト設置の進捗状況】

建設は順調に進んでいます。この一ヶ月で、整地作業が終わり、スタッフハウスにおいては建物の大枠ができてつつあります。ヘルスポスト本体も基礎部分のブロックが積まれてきています。写真をご覧ください。今後も具体的な建設の様子等、進捗状況をお知らせします。



左：大きな木を切り出し、整地をしています

右：トラックで川から砂利を運んできています。

左：整地を終え基礎部分の作業が進んでいます。

右：スタッフハウスの基礎部分です。



左：スタッフハウスの床が張られています。

右：スタッフハウス建設の様子



左：スタッフハウス建設工事の様子、遠景

右：水タンク設置の基礎部分

【巡回診療】

7月5日 ルアノ

- ・診療数 97 名、マラリア陽性数 17 名中 4 名 妊産婦検診 21 名 道中の診察 0 名
- ・主な訴え、疾患等：気道感染症、腰痛などからだの痛み、胃腸炎、結膜炎など目の疾患、皮膚疾患
- ・重症例：なし
- ・他の医療機関への紹介：なし
- ・5 歳未満の小児 予防接種の種類と接種した人数：MRV(はしか)：7 名、IPV(ポリオ)：28 名、PCV(肺炎)：11 名、DPT (三種混合)：28 名
- ・妊婦さん 4 名が破傷風ワクチン接種を受けた
- ・20 代男性が突然倒れたと担ぎこまれた。到着時の血圧 76/60。糖尿病検査：4.6 (正常)、マラリア検査が陽性。母親が亡くなり、葬式を済ませた直後。気落ちしていたのが原因(?)。点滴をし、しばらくすると自分で座れるようになった。血圧 167/111 に回復。血圧が高いのも少々気になったが、自分で歩けるようになったため、チペンビへの搬送はせず、自宅近辺まで車で送った。



＊再来患者のカルテ探しの様子

7月12日 サンダラ

- ・診療数 41 名、マラリア陽性数 5 名中 2 名、 妊産婦検診 13 名、道中の診察 2 名
- ・主な訴え、疾患等：気道感染症、腰痛などからだの痛み、胃腸炎、肺炎
- ・重症例：なし
- ・他の医療機関への紹介：なし
- ・5 歳未満の小児 予防接種の種類と接種した人数：DPT (三種混合)：7 名、PCV(肺炎)：7 名、Measles(麻疹)：3 名



＊市場が出ます(雑貨も売られている)

7月19日 リテタ

- ・診療数 116 名、マラリア陽性数 65 名中 7 名、 妊産婦検診 4 名、 道中の診察 0 名
- ・主な訴え、疾患等：気道感染症、胃腸炎、腰痛などからだの痛み、皮膚疾患、赤痢疑い
- ・重症例：なし
- ・他の医療機関への紹介：なし
- ・5 歳未満の小児 予防接種の種類と接種した人数：DPT（三種混合）：4 名、 PCV(肺炎)：4 名、 Measles(麻疹)：2 名
- ・ルアノ郡リテタヘルスポストの Given さんが、Chitemalesa から車に同乗した。段ボール 2 箱に入れた鶏を持参していたため、車内に臭いが充満。ラウンドクルーザーのルーフキャリアに載せたらと提案するも鶏が心配とのことで、彼の膝に抱えて移動したため、同乗者全員マスクを着用。



＊マラリア検査を待つ人達（家族全員陽性も）

- ・浦添総合病院救急集中治療部の高橋公子先生（ロシナンテス訪問中）が同行された。

7月26日 ニャンカンガ

- ・診療数 215 名、マラリア陽性数 14 名中 2 名 妊産婦検診 13 名 道中の診察 0 名
 - ・主な訴え、疾患等：気道感染症、胃腸炎、腰痛などからだの痛み、皮膚疾患、う歯（口腔内疾患含む）
 - ・重症例：なし
 - ・他の医療機関への紹介：なし
 - ・5 歳未満の小児 予防接種の種類と接種した人数：MRV(はしか)：14 名、OPV(経口ポリオ)：18 名、IPV(ポリオ)：7 名、PCV(肺炎)：15 名、ROTA(ロタウイルス胃腸炎)：8 名、DPT(三種混合)：15 名、BCG:7 名
 - ・先月の巡回診療では予防接種が行われなかったためか、「今月はMwapula のスタッフと来てほしい」と連絡があった。
 - ・受付場所に、屋根ができ、腰かける場所も作られ、待つ人にやさしい受付場所になった。
 - ・不足となった薬：Amoxyl syrup, Go coff, Amoxicillin tablets, PCM, MMT, Chlorin, Metronidazole, ORS
- PCM, Amoxicillin tablets, Go coff, ORS は通常より多く準備していたため、処方通り渡すことはできた。
- ・高橋康太郎先生（平戸市民病院、国境を越えた地域医療支援機構）が同行された。



＊受付場所に屋根ができた



＊乳児健診に並ぶ母親達

【井戸の修理】

- ・「ンサパニの井戸の水が出ない」と連絡があり、テクニシャンと現地へ。
- ハンドポンプが傾いて見える…？よく見ると、ポンプの基礎部分が欠けていた。「ケースは少ないけれど、壊れることはあるよ」とテクニシャン。部品を見つける必要あり。

・次の作業がしやすいように、中のパイプの確認。7本中2本のパイプに穴が開き、1本はネジ部分が壊れていた。ロッドやシリンダーヘッドは問題なし。

・基礎部分の部品を探し続きの作業は後日することとなった。
・作業を見ていた女性たちに尋ねると、1年以上前から故障していたとのこと。ハンドポンプの正しい使い方、管理の仕方など井戸に関する啓発も必要と感じた。



＊パイプの抜き取り作業



＊作業を見守る人々

賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について

・2023 事業年（1月から12月）も8月となりました。賛助会費（個人一口5000円、団体一口10000円、一口以上）及びご寄附（金額は問いません）のご協力をよろしくお願いします。

・当法人は認定NPO法人であり、ご寄附（賛助会費含む）をいただいた際には翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書（賛助会費も寄附金と同様税控除の対象）をお届けします。

・ご不明の点は日高（info@ormz.or.jp または hidaka1956@gmail.com）までご連絡ください。

★郵ちょ銀行からの振替

口座記号 01720-9 口座番号 126351

加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金

郵ちょ銀行 店名：一七九 口座記号：01720-9 口座番号：0126351

加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称 トクヒ）ザンビアノヘンチイリョウヲシエンズルカイ

令和5年（2023年）も多くの皆様のご支援を心からお願い申し上げます。